

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	放課後子供教室推進事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	徳島県放課後子供教室推進事業等実施要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">▼</span> 19年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期
(小項目)		生涯学習			
施策	1	生涯学習の推進			
基本事業	3	青少年健全育成の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市内の小学校に通う全児童						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得ながら、子どもたちがスポーツ・文化活動や勉強、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	地域の特色や人材を活かした様々な体験活動や交流活動を通して、子ども達の安全で安心な居場所づくりを進めるとともに、実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に積極的に働きかけ、引き続き指導者・活動場所の確保を進める。 また、国の「放課後子ども総合プラン」を踏まえて、放課後児童クラブとの一体的または連携した実施を進める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		放課後子供教室利用者の延人数	7,800	8,800	9,200	9,200	9,300	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	① 市内8小学校区で放課後子供教室を開設した。 ② 各教室の地域コーディネーターで構成される実行委員会を定期的で開催し、教室の運営等について協議・情報交換等を行った。 ③ 放課後児童対策事業全体の連携強化を図るため、放課後児童クラブ、児童館及び放課後等デイサービス事業所との合同研修会を開催した。 ④ 安定した人材の確保を図るため、地域コーディネーター及び指導者の謝金単価の引き上げを行った。 ⑤ ICTを活用した学習支援プログラムの実施や共通プログラムの充実等を図るため、希望する教室に対しタブレットPCやスポーツ用具等の備品を整備した。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	教室の実施回数	468	481	483	490	500	回
	2	教室の参加児童数	319	397	388	390	390	人
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	放課後子供教室利用者の延人数		8,985	9,587	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			108.9	—	—	—	%
今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	3,528	0	0	1,767	5,295
		補正予算額	0	△ 180	0	0	△ 11	△ 191
		繰越予算額	0	1,543	0	0	1	1,544
		全体予算額	0	4,891	0	0	1,757	6,648
		決算額	0	4,539	0	0	1,670	6,209
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
0.3	0.0		2,170		8,379			

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	4,332	6,209	6,155	6,155	6,400
	うち一般財源	1,450	1,670	2,053	2,053	2,134
	人件費	2,140	2,170	2,170	2,170	2,170
	総事業費	6,472	8,379	8,325	8,325	8,570

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		各教室ともに、地域の特色や人材を活かした活動プログラムを実施し、放課後等における安全安心な居場所・体験活動等の場として、子どもたちの心身の成長に寄与している。 実行委員会の開催回数を増やすことにより、教室の運営についての協議や活動プログラムに関する好事例の共有を行う機会が増え、事業の効率化に繋がった。
	効率性	A:効率的だった		
②成果に対する評価	指標名	放課後子供教室利用者の延人数		新たに導入した備品を活用し、子どもたちにとって魅力ある学習支援や活動プログラムの導入が可能となったことから、利用者の増加に繋がり、成果指標を上回る結果となった。 事業への認知・理解は年々高まっており、利用する児童も増加傾向にある。学校や児童クラブとの連携・協力も進んでおり、A評価とする。
	目標	8,800	人	
	実績	9,587	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	① 利用者増加への対応や教室の継続運営のため安定した人材確保の方策が必要。 ② 児童クラブとの具体的な連携方法の検討が必要。 ③ 更なる新規教室の開設に向けて、学校・家庭・地域のニーズ及び実状の定期的な確認が必要。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	地域の団体・機関等と調整を行い、新たに放課後子供教室を1教室開設する。 【継続】 ① 実行委員会にて、教室運営・活動プログラム等についての好事例について情報共有を行う。 ② 放課後児童対策事業の合同研修会を開催し、事業間の連携を強化する。 ③ 人材確保策の一環として、大学生への活動の周知広報・勧誘活動を進める。			
	H31年度	実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に積極的に働きかけ、引き続き指導者の確保に努める。			